



煙嵐に沈む夕日 撮影者 外来係長 上門 誠

基本理念 思いやりのある医療を実践します。

あなたの権利を尊重し
あなたを中心とした
あなたに適した医療を提供します

1. プライバシーの尊重を実践します。
2. 親切・丁寧なケアを実践します。
3. わかりやすい説明と納得による診断治療を実践します。
4. 地域医療機関との連携強化を図ります。
5. 自ら研鑽に努め、良質な医療の提供に役立てます。



南和歌山医療センターの基本理念である
『思いやりのある医療を実践します』に基づき、

1. 明るく (A)
2. 挨拶があり (A)
3. 愛のある (A)
4. アカウンタビリティ (納得説明義務) (A)

の4つの頭文字のAを基本デザインとしています。

これは丸みをおびた形でやさしさを表現し、4つの理念が集まることで、空（明るい未来）に向かって羽ばたく鳥を表しています。4つのカラーは黄色が明るさ、赤が愛、青と緑は南和歌山の自然の象徴である綺麗な海と、山を表現し、南和歌山医療センターの環境の良さもアピールしています。

受診者の皆様の義務

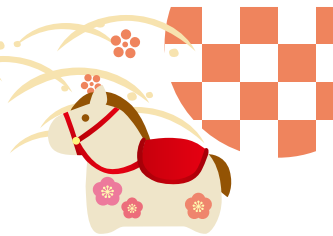
- 南和歌山医療センターは受診者の皆様と病院の双方がお互いに尊敬し、協力し合うことが安全かつ良質な医療の提供につながるものと考えています。
- 受診者の皆様には以下の事項に合意し、守っていただく必要があります。
1. 安全かつ最善の診療のためにご自身の身体や必要事項に関する情報を、私たち職員に正確に伝えていただくこと
 2. 検査・治療は説明を受け、納得・合意の上で受けていただくこと
 3. 当院は近隣の医療機関と連携して専門性の高い医療を提供する急性期病院である。救命救急、がんに対する医療と緩和ケアを提供する病院の役割をご理解の上、診療体制維持に協力いただくこと
 4. 病院内では静粛を保ち、院内のルールに従っていただき、他の来院者や入院中の方に迷惑をかけることのないよう配慮していただくこと
 5. 病院内ではお互いに礼儀正しく思いやりのある態度で接していただくこと
 6. 医療費の支払い請求を受けたときは遅滞なくお支払いいただくこと

受診者の皆様の権利

- 患者としてあなたには
1. 良質で公平な医療を受けられる権利があります。
 2. 人格や価値観を尊重される権利があります。
 3. 個人情報を守られる権利があります。
 4. 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
 5. 治療法を選択できる権利があります。
 6. 治療法について、第三者の意見を聞くことが出来る権利があります。
 7. 貴方の診療記録の開示を求める権利があります。



新年のごあいさつ



院長 橋爪 俊和

新年あけましておめでとうございます。

一般社会も医療界隈も激動の時代にあって「安定」が懐かしく思える昨今ですが、どのような状況下でも地域医療と健康増進のため、先を見据えた努力を惜しまず使命を果たしてまいります。

私自身、課題を痛感する一方で、組織の効率化や改革を進め、病院機能の充実とサービス向上に努め、地域支援病院としての役割を果たすべく邁進いたします。地域住民・患者様、医療機関の皆様からのご意見を糧に、時代に惑わされず使命を遂行する所存です。

丙午の年、駆ける馬のように力強く前進し、希望に満ちた一年となることを心より願っております。本年も変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

副院長 西林 宏起

新年あけましておめでとうございます。本年が皆様にとって良い年であることを祈念いたします。紀南地方は自然の恵み豊かな土地で、縄文時代の先祖の営みを偲ばせる貝塚が多数発掘されています。いかに次世代に時代を継承していくか、先人たちは知恵を絞ったことなのでしょう。山積する課題を前にポジティブに思考を転換することで運が上向くとよく言われています。今年の干支は丙午で前向きで活気のある一年であることが予想されます。地域の方々が健やかに過ごせるよう、南和歌山医療センター職員一同努力してまいりますのでご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

統括診療部長 横山 省三

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は格別のご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。医療を取り巻く環境は依然として厳しく、少子高齢化や人材不足、経営の逼迫など、地域医療を支える基盤が揺らぎつつあります。持続可能な医療提供体制の構築が喫緊の課題となっており、地域の先生方との連携を深め、当院の役割を果たしていきたいと考えております。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

薬剤部長 古川 順章

新年あけましておめでとうございます。

近年、医療機関を取り巻く大きな環境の変化がありますが、安心・安全で質の高い医療の推進を実践する上で、これまで以上に地域の医療機関の皆様との連携体制の強化が必要と考えております。

地域医療に貢献できるようメディカルスタッフ一同で協働して頑張っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

看護部長 八軒 美幸

謹んで新年のお慶びを申し上げます。地域の医療機関の皆様には、日頃より温かいご支援やご理解を賜り厚く御礼申し上げます。2026年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。「勢い」「行動力」「挑戦」「成功」を象徴し、躍動感に満ちた年で、発展や努力が実を結ぶ一年になることを願うという意味が込められています。将来を見据え、地域医療の発展と住民の皆様の健康を守るという使命を胸に、地域の皆様と情熱を持って語り合い、顔の見える連携をさらに強化していく所存です。看護部として、地域とのつながりをより深めるための新しい目標にもチャレンジし、力強く前進できる飛躍の年にしたいと思えます。心安らぐ、ていねいな看護実践を目指し、職員一人ひとりがより一層の努力を重ねてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

事務部長 北口 英明

新年あけましておめでとうございます。地域の医療機関の皆様方には日ごろから当院の運営にご支援、ご協力賜り誠にありがとうございます。2026年は「丙午（ひのえうま）」にあたります。丙午は情熱的で強い意志を持ちながらも、激しさや変化を伴う年と言われており、当方としましても様々な課題に柔軟に対応しながら地域医療の発展に少しでも貢献できるよう取り組んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

● 今年もけんこうフェスタを開催しました！ ●

令和7年12月14日（日）、Big・Uにて「けんこうフェスタ」を開催しました。今年はブースを2つ増やし、皆さまに楽しんでいただけるよう、スタッフ一同準備に励みました。

【ブース一覧】よろず医療相談・腹腔鏡手術体験・薬局のおしごと体験・血管年齢測定・骨密度測定・転倒予防チェック～バランス評価～・ちょこっと栄養相談・コラージュ体験・白衣体験・BLS体験・アロママッサージ・クイズラリー

お子様から大人の方まで楽しみながら健康について考えられるブースを用意しました。

はまゆう保育園児によるダンス発表会の後、皆さんお待ちかねのお菓子・お餅まきを行い、大盛況のうちに無事終了、計502名もの多くの方にご来場いただき、笑顔あふれる一日となったと自負しております。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。

時期は未定ですが、来年度も開催予定ですので、皆さま是非ご参加ください！！



第35回 地域医療連携カンファレンス開催のご案内

当院では、地域の医療・介護従事者の皆様を対象として、カンファレンスや研修を定期的を開催することにより、情報の提供や共有を進めて連携を強化し、地域医療の向上に貢献していくことを目指しております。

この度は第35回地域医療連携カンファレンスを下記のとおり開催いたします。特別講演として公益財団法人がん研究会有明病院 腫瘍精神科 主任公認心理士 厚坊 浩史 先生より災害時の医療連携についてお話しいただきます。ご多忙中とは存じますが、是非ご参加いただきますようお願いいたします。

日 時	令和8年2月28日（土）15：00～16：00
場 所	南和歌山医療センター2階 地域医療研修センター（和歌山県田辺市たきない町27-1）
対 象	災害医療にかかわるすべての従事者
特別講演	「災害時のこころのケアと多職種連携」 講師：公益財団法人がん研究会有明病院 腫瘍精神科 主任公認心理士／臨床心理士 厚坊 浩史 先生
連 絡 先	南和歌山医療センター 地域医療連携室 糠塚 里恵 TEL 0739-26-7063 FAX 0739-26-0783

第34回 地域医療連携カンファレンスの開催報告

令和7年12月14日（日）開催の「けんこうフェスタ2025」（会場 Big・U）のプログラムのなかで第34回地域医療連携カンファレンスとして当院専門医2名が登壇して講演を行いました。

第1部は放射線治療科の濱瑞貴医師により「放射線治療最前線～根治治療から緩和医療まで～」をテーマに第2部では脳神経外科の西林宏起医師より「認知症とともにあゆむ地域～知る・気づく・支えあう～」について、いずれも40分の構成で、最新治療の進歩と患者支援の現状、周囲や地域の関わり方にいたるまで幅広く解説されました。

1部・2部の合計で100名超に参加いただき、会場では専門的な内容ながらも深くうなづき聞き入る姿が見られるなど皆様の関心の高さがうかがえました。



編集後記

あけましておめでとうございます。

今年は「丙午・ひのえうま」の年です。炎のような情熱と勢いのある年となるので、チャレンジに追い風がふき、物事がよい方向に動くと言われています。

また、人とのコミュニケーションを取ることで運氣があがる年でもあるそうです。

南和歌山医療センターも、地域の先生方とのコミュニケーションを大切にし、よい方向に大きく変化できればと思います。

地域医療連携係長 糠塚 里恵